

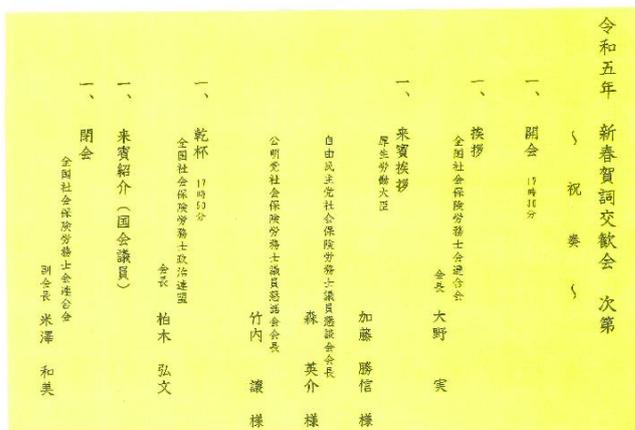
令和5年2月3日

令和5年 新春賀詞交歓会の報告

出席者 会長 日笠 みどり

全国社会保険労務士会連合会の主催で、令和5年新春賀詞交歓会が、1月16日(月)パレスホテル東京で3年ぶりに開催されました。

S R経営労務センターに開催の案内がされたのは初めてのことで、せっかくの機会ですので出席をしてきました。



交歓会には、全国から531名が出席し、その内訳は国会議員(元議員を含む)258名、関係団体・士業95名、厚生労働省等行政職員23名、社会保険労務士155名です。そのうち、SR経営労務センターからは21名の出席でした。開会までの間、新年を彩る雅楽の演奏が行われ、琵琶、箏、笙、箏篳(ひちりき)、龍笛(りゅうてき)の優雅な響きが広がりました。



始めに、連合会の大野実連合会会長より挨拶がありました。

大野会長からは、今年が社労士制度創設55周年の節目の年であること、従前の「働き方改革」に加え、デジタル化の推進、人権尊重への取組等、士業としてより一層信頼されるように使命を果たしていくとの言葉がありました。



続いて、来賓の加藤勝信厚生労働大臣からは、働き方改革の推進や社会保障制度の見直し、労働分野では長時間労働の是正、同一労働・同一賃金の徹底、また女性や若者・高齢者等の就労支援など厚生労働行政を取り巻く情勢を見極めながら必要な取組を進めていきますので、今後とも支援をお願いします、とのお言葉でした。

また、自民党社会保険労務士議員懇談会森英介会長と公明党の議員懇話会竹内譲会長より祝辞をいただいた後、全国政治連盟柏木弘文会長による乾杯の音頭とともに国会議員等の来賓の紹介へと移っていきました。

賀詞交歓会は、全国社会保険労務士政治連盟の共催でもあり、毎回国会議員の方々も多く参加されるようです。社労士会自体政治活動が出来ないため、別に社労士で構成された政治連盟という組織で社労士法改正等に向けて活動を行っています。乾杯後には議員の方からご挨拶をいただくのが恒例となっていたようですが、今回は例年よりタイトなスケジュールの賀詞交歓会ということで、あっという間に閉会の時間が来たという感じでした。

会場内で山下たかし衆議院議員が中国四国地域の席まで来られ、社会保障制度等について意見を交わしました。県会のWeb勉強会の開催にもつながっていきました。



左から神田県副会長、山下議員、県政治連盟林会長、日笠



華やかにそして力強く、祝宴の最後を飾って閉会の挨拶をされた連合会副会長 米澤 和美氏

以上